

**製品名: Smad5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21160**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:55kD;Observed MW:55kD

**抗原情報**

遺伝子名	SMAD5
別名	SMAD5;MADH5;Mothers against decapentaplegic homolog 5;MAD homolog 5;Mothers against DPP homolog 5;JV5-1;SMAD family member 5;SMAD 5;Smad5;hSmad5
遺伝子 ID	4090.0
SwissProt ID	Q99717
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

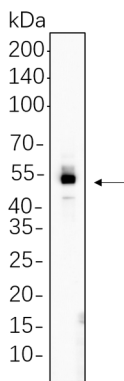
**背景**

細胞局在：細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、造血前駆細胞の増殖を阻害する形質転換成長因子  $\beta$  シグナル伝達経路に關与する。コードされるタンパク質は骨形成タンパク質 1 型受容体キナーゼによって活性化され、がんに關与する可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



C2C12 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Smad5 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。